

## 2020年度 どうぶつたちの病院 事業報告

どうぶつたちの病院では、2020年度も対馬やイベント等において、ツシマヤマネコをはじめ野生動物の保護活動と飼育動物の適正飼養普及活動などに取り組みました。

近年、錯誤捕獲による救護が増えています。対馬では野生動物との距離が近いこと、畑や鶏舎への侵入を防ぐために仕掛けられた罠や、狩猟としてシカやイノシシを捕獲するための罠に、ツシマヤマネコやツシマテンなどがかかってしまいます。野生動物との共存にむけ、なぜ野生動物を守るのか、どのような方法を取れば野生動物を傷つけずに農作物等の被害を防げるのか、私達の理解力と知恵が求められています。

野生の声を聞き、地域住民とともに諸問題を解決するために、どうぶつたちの病院の活動は続きます。引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

### 対馬プロジェクト

長崎県対馬のみに生息し、絶滅の危機に瀕するツシマヤマネコの保護活動のため、本法人は対馬動物医療センター（動物病院）を運営し、獣医師と動物看護師が常駐しています。また、環境省の対馬野生生物保護センターにツシマヤマネコの飼育担当等を常駐させています。

#### ■ ツシマヤマネコ保護事業 ■

現在のツシマヤマネコの野生個体数（推定） 90～100 頭

2020年度 保護された個体数 7 頭

2020年度 交通事故による死亡 2 頭

●対馬野生生物保護センターで飼育されているツシマヤマネコの飼育や健康診断、野生のツシマヤマネコの緊急的な保護や治療等、また普及啓発事業の補助、ツシマヤマネコの保護増殖に関する会議への出席等、実施しました（環境省受託事業）。

#### 保護個体について

##### ① Mw-78

- ・2020年6月1日、イノシシ罠による錯誤捕獲（過去にも2回錯誤捕獲あり）。
- ・治療の必要はないと判断し、放獣しました。

##### ② Fk-89

- ・2020年5月13日、交通事故により保護しました。骨盤骨折。
- ・2020年6月18日に繁殖個体として飼育下に導入するため、ツシマヤマネコ野生順化ステーションに移動しました。

##### ③ Fs-90

- ・2020年10月30日、交通事故により保護しました。
- ・翌日、死亡しました。

④ Fg-91

- ・2020年12月19日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。
- ・健康個体と判断し、放獣しました。

⑤ Fn-92

- ・2021年1月5日、健康状態の検査のため捕獲しました。
- ・異常は認められず、放獣しました。

⑥ Mo-93

- ・2021年1月16日、錯誤捕獲（はこわな）により保護しました。背部外傷。
- ・2021年2月3日、放獣となりました。

⑦ Fn-94

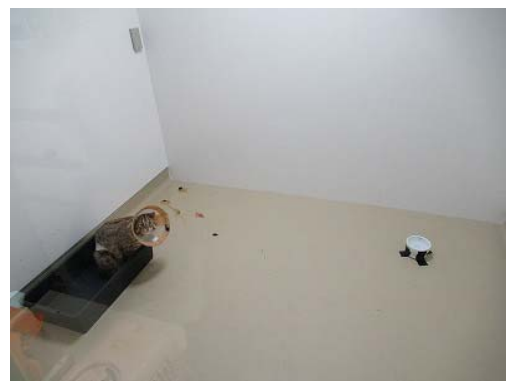
- ・2021年1月21日、健康状態の検査のため捕獲しました。
- ・異常は認められず、放獣しました。



入院管理中の Mo-93

### 飼育個体について

福岡市動物園から4代目展示個体として2019年に対馬にやってきた「かなた（5歳）」は、コロナ禍による対馬野生生物保護センター閉館でお客さんもないなか、のんびりと過ごしています。その様子を当法人ホームページやフェイスブックを通じて、写真や動画でお伝えしていますのでご覧ください。2021年春、尿閉塞がみられたため治療をしていました。現在は症状も改善し、野外ケージで過ごしています。



尿閉塞により入院中の No.71（かなた）

●国が進めるツシマヤマネコ野生復帰事業に向けたツシマヤマネコの生息環境整備のため、対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会（※）では2013年度から飼い主不明のネコ（ノラネコ、世話ネコ）への不妊化処置を実施しています。ツシマヤマネコの生息を脅かす原因のひとつであるノラネコからの感染症（FIV（ネコエイズ）/FeLV（ネコ白血病））を防ぎ、ノラネコの個体数を減らす対策です。同協議会と各集落が協力して実施体制を構築し、本法人がネコの捕獲・不妊処置やワクチン接種、マイクロチップ挿入等の医療処置を実施し、捕獲集落にて放獣しています。2020年度は新規の上対馬町鹿見と継続している4地区にて、合計31頭のネコを処置しました（対馬市受託事業）。

（※対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会：環境省、長崎県、対馬市、学識経験者、長崎県および福岡県獣医師会、本法人）



●また、飼い主不明のネコ以外の「飼養ネコ」に対しては、対馬市ではネコ適正飼養条例により、マイクロチップ挿入および飼育登録と不妊処置（屋外飼育の場合）が義務化されています。2018年度までは対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会の「ネコの健康生活サポートキャンペーン」により、飼い主の負担を軽減（2012年までは全額無料、2013～2018年は一部負担）してきましたが、キャンペーン終了に伴い2019年度からは、飼い主の全額負担となりました。なお、FIV（ネコエイズ）/FeIV（ネコ白血病）検査は、日本全業工業株式会社様のご厚意により、これまで通り無料で実施できました。飼い主の費用負担となってから2年目となる2020年度は、不妊処置等の実施件数（対馬全体）は235頭と、過去最高の件数となりました。これまでの普及啓発活動が功を奏し、市民の意識が変化してきたためと考えられます。

### ■ ツシマヤマネコ以外の野生動物保護事業 ■

地域住民および関係機関からの要請を受け、本法人対馬動物医療センターにて9件の野生動物を救護しました。

内訳：ヤマガラ(1)、オオミズナギドリ(1)、オオコノハズク(1)、  
ミヤマホオジロ(1)、オオバン(1)、オシドリ(1)、ツシマテン(1)、  
ヤツガシラ(1)、キジバト(1)

予後：野生復帰 6

死亡 2（オオミズナギドリ、オオバン、ツシマテン）

終生飼育 1（オオコノハズク）



ヤツガシラ



オオコノハズク



ツシマテン

## ■ 一般診療事業 ■

対馬市北部にある唯一の動物病院として、本法人対馬動物医療センターにて 2,057 件の診療を実施しました。

## ■ 教育普及活動 ■

### ● 実習生の受け入れ

対馬動物医療センターおよび対馬野生生物保護センター（TWCC）にて、実習（職場体験等）の受け入れを行いました。

- ・ 佐須奈中学校 1名（職場体験）
- ・ 比田勝中学校 1名（職場体験）
- ・ 上対馬高等学校 1名（職場体験）
- ・ 職員面接希望者 9名（インターンシップ：WEB 説明会）





- ツシマヤマネコを飼育している動物園でのイベント参加

京都市動物園 「ヤマネコ博覧会」(10月17~18日)

新型コロナウイルスの流行下、感染防止対策をしながらの実施となりました。ブースでは、活動紹介のパネル展示とオリジナルグッズの販売のほか、「つしまやまねこ福笑い」を実施。ひとりでも家族連れでも、ツシマヤマネコの特徴を学びながらちょこっと楽しめるようにしました。

なお、イベント直前の9月に飼育展示個体「みやこ」が死亡(国内最高齢18歳)しました。獣舎前の献花台には子供たちからのメッセージがありました。天国でやすらかに(合掌)。



- オリジナルグッズの制作

保護の対象とする野生動物についてより多くの方に関心と理解をもっていただくために、オリジナルグッズを制作し、ホームページを通しての販売のほか、対馬野生生物保護センターやイベント会場等で販売しています。今年度は、タグ付きエコバック、Moe.さんデザインによるツシマヤマネコ交通事故防止ステッカー、野生動物画家の岡田宗徳さんのツシマヤマネコのイラストを使ったガラスマグカップと交通事故防止ステッカーを制作しました。



デザイン：MoE.



イラスト：岡田宗徳 デザイン：Y.おおた

## 収支報告

		(単位：円)
<b>収入の部</b>		
	会費収入	90,000
	寄付金収入	575,783
	助成金収入	0
	事業収入	39,524,762
	その他（雑収入、受取利息など）	110,662
	計	40,301,207
<b>支出の部</b>		
	事業費	
	対馬プロジェクト	34,179,261
	受託事業	(15,574,673)
	独自事業（動物診療、野生動物保護、保護収容ネコ）	(18,101,138)
	普及啓発事業	(503,450)
	管理費	6,161,007
	計	40,340,268
	<b>当期収支差額</b>	△ 39,061
	前期繰越収支差額（修正後）	38,041,214
	次期繰越収支差額	38,002,153

2020 年度事業報告は以上です。